

# 東京の数、世界の数 数の舞台『100%トーキョー』



シンポジウム

(c) Sandra Teth

とき

2013.11.13 (水) 18:30～20:00

ところ

明治大学中野キャンパス 413 教室

(JR 中央線「中野」徒歩 8 分)

東京 23 区の一般市民 100 人が「その人自身」として出演する舞台、『100%トーキョー』(11/29～12/1、池袋・東京芸術劇場)。ドイツのアートプロジェクトユニット「リミニ・プロトコル」の構成・演出によるこの作品では、統計が大きな役割を果たします。本シンポジウムでは、キャスト・スタッフ(明大教員を含む)をパネリストに、公演の概要と制作方法、進捗について、また、統計を切り口にしてとらえる、国際都市「東京」の現在について、語ります。

- 主催 明治大学大学院 先端数理科学研究科
  - 共催 明治大学国際日本学部 萩原健研究室(演劇学)  
明治大学総合数理学部 中村和幸研究室(統計科学)  
明治大学ドイツ研究会
  - 協力 フェスティバル/トーキョー
  - 後援 中野区
- 【お問合せ】萩原健 (hagi@meiji.ac.jp) /  
中村和幸 (knaka@isc.meiji.ac.jp)



パネリスト

- ・中村和幸(明治大学総合数理学部准教授 / 『100%トーキョー』キャスト・スタッフ)
- ・セバスチャン・ブロイ(ドラマトゥルク / 『100%トーキョー』スタッフ)
- ・松岡久乃(中野区民 / 『100%トーキョー』キャスト)
- ・萩原健(明治大学国際日本学部准教授 / 『100%トーキョー』スタッフ)【司会進行】

予約不要・入場無料・一般公開